

「仁淀川ブルーDMO」観光戦略 概要版

策定の主旨

「仁淀ブルーDMO」観光戦略は、「奇跡の清流仁淀川」を起点として、仁淀川流域を世界有数のブランド観光地域にしていくために、仁淀川流域における将来目標を共有し、仁淀川流域の6市町村が、広域で連携し、現状よりも「単一市町村」から「広域視点」での情報の提供、発信を強化することで、仁淀川流域内への「来訪者（日帰り・宿泊）」「観光消費額」を加速して増やすことを目的として、策定する。

目指す姿（ビジョン）

～住む、訪れる誰もが自然体になれる心温かな仁淀川流域～

仁淀川流域が持つ地域資源である、清流が育んだ豊かな自然、歴史文化、豊富な食を守り続けます。地域に住む人々が地域への誇りや愛着を持ち続けます。国内外からの来訪者へも感謝と心からのおもてなしの気持ちを持ち続けます。住む人も訪れる人も「ここにいれば、ここに来れば心温かなになれる」といわれる、仁淀川流域として輝かせることで、将来にわたって持続可能な地域づくりを目指します。

ここにしかない価値

～仁淀川ブルーと呼ばれる、日本一の水質～

『仁淀川は、全国一級河川の水質ランキングで平成24年から平成28年まで5年連続で全国一位となった、四国を代表する「清流」です。この「仁淀ブルー」と呼ばれる日本一の水質を、仁淀川地域のここにしかない価値として磨き上げ、「奇跡の清流、仁淀川」のブランドをより浸透させていきます。』

5つの「基本理念」とミッション

1. 仁淀川流域・6市町村の知名度の向上
2. 観光を通じた交流人口の拡大
3. 地域経済の活性化
4. 観光産業における雇用創出
5. 観光に携わる人たちが、元気になる。
活気づく。やりがいや生きがいを感じる地域づくり

ミッション
仁淀川流域に来訪するお客様と地域資源・地域の人々を
観光という切り口でつなぎ、
持続可能な地域づくりのためにリーダーシップをとります。

調査結果から見える課題

- 課題① 仁淀川及び仁淀川流域（6市町村）の認知度は低い
- 課題② 一人当たりの観光消費額が低い
- 課題③ 周遊性が低い
- 課題④ 各施設等の満足度が高いとはいえない

戦略のテーマとコンセプト

「奇跡の清流、仁淀川」ブランドによる「～仁淀川の日本一の水質を強みにした
「仁淀川流域内消費の最大化」～

- ①自然を活かしたブランド構築と情報発信の強化による認知度向上
- ②仁淀川流域の特性を活かして、域内消費を増やすことでの地域経済の活性化
- ③地域資源の掘り起こし磨き上げによる、来訪者満足度の向上
- ④地域マネジメントの強化による持続可能な地域づくりの牽引

ターゲット

～仁淀川流域に非日常感や癒しをもとめる、情報取得感度と拡散力が高い20代～40代の女性層～

ターゲットエリア

◆戦略エリア：愛媛県、香川県、徳島県 ◆戦略サブエリア：近畿・中国エリア

個別戦略①

仁淀川流域らしい
商品開発と品揃え強化

（1）着地体験プログラムサポート
「新商品」「改善商品」「現在の商品」とに
分類し、開発をサポート

（2）宿泊施設と連携・協働した
プログラム開発サポート
宿泊施設が開発する体験プログラムや宿泊施設、
キャンプ場、農家民宿と体験事業者が連携・
協働したプログラム開発のサポート等

（3）周遊促進ツアーの造成・販売

着地型旅行商品や体験プログラムをつなぐ広域的
旅行商品の開発、販売等

（4）特産品開発サポート
仁淀川流域ならではの食材を活かした商品
開発サポート等

（5）グルメ開発サポート
仁淀川流域ならではの食材や産品を活かした
グルメ開発等

個別戦略②

仁淀川流域の
魅力的な情報提供力の強化

（1）公式ホームページの充実
・魅力的な情報（＝質）の収集
・情報、コンテンツ量の充実化

（2）総合パンフレットの充実と
デジタルパンフレット化

個別戦略③

誘客を促進するためのセールス・
プロモーションの強化

（1）発地セールス
メディア系旅行会社、オンライン
トラベルエージェント、各種商談会

（2）発地プロモーション
マスメディア、インターネット
、SNS、動画配信

（3）着地セールス
リアル旅行会社、交通機関

（4）着地プロモーション
着地型冊子の制作、設置

（5）リリースによるマスコミ活用
セミナー開催等

（6）インバウンド
ファムツアーの実施、クルーズ船への
エクスカッション商品の造成・販売
、各種商談会への参加等

個別戦略④

消費を増やすための
流通と販売の強化

（1）宿泊・体験プログラムを予約・
販売できる仕組みを構築

（2）飲食店を予約できる仕組み
を構築

（3）特産品を販売できる仕組み
を構築

↓
上記に連動して、将来的にアフィリエイト
手数料等による自主財源の確保を目指す

個別戦略⑤

受入・おもてなし
体制の整備

（1）ガイド人材の確保と育成

（2）受入のワンストップ体制整備
仁淀川流域の全情報を仁淀ブルー
DMOに一元化

（3）地域の観光による地域づくり
の理解促進
セミナーやワークショップを開催

（4）各拠点で流域の観光情報を
共通発信

（5）インバウンド獲得に向けた取
り組み
将来のインバウンド獲得に向け、現
状把握や受入に向けた課題等整理

（6）観光人材の育成
高知県が実施する事業と連携しながら、
将来の観光を担う人材を育成

個別戦略⑥

組織体制強化
連携強化

（1）マーケティング機能強化

カスタマーとの接点を強化し、データに
基づく戦略策定、戦略推進をし、満足度
向上を図るとともに、誘客促進を図る
仕組み構築する

（2）テーマ別ワーキングG開催

地域課題の解決や新たな地域ビジネス
の創出を図るためのワーキンググループ
を開催する。地域一体となり観光地域
づくりを考える機会を創出し、官民・産
業間・地域間との持続可能な連携を図る
仕組みを構築するとともに、戦略推進の
PDCAを回していく